|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 本時のねらい【焦点化】 | ※本時の目標（山場）を一つに絞って明確に書く | 指導の工夫◎評価方法・観点○個別の配慮・支援★伝え合いが深まる工夫 |
| 展開の工夫 【構造化】 | ○教師の発問、予想される児童の反応 |
| 導入 | 教科に合わせて、おもしろそうなどの文言や展開１・展開２などの枠を変更してよい。 | ※謎解きやしかけの工夫で、興味・関心を高める。 |
| おもしろそう |
| めあて | ※子供のことばでシンプルに設定する。 |
| ※ユニバーサルデザインなど、指導の工夫を書く　　　焦点化→ (焦)視覚化→ (視)共有化→ (共)※つまずきが予想される子供に対して、一斉指導の中で、個別に関わりながら行う、具体的な配慮、支援について書く。★考えたくなる工夫、伝えたくなる工夫、伝え合いが深まる工夫を記入する。 |
| 展開１ |  |
| やってみたい |
| できた | ※授業の山場山場 「ああそうか！できた！わかった！」など 子供が授業のめあてを理解した場面のことば |
| ※評価の観点と　具体的な評価方法　　　　　　を書く例:～について考える ことができる　　　　　　(発言）　・関心・意欲・態度　　→【関・意・態】・思考・判断・表現　　→【思・判・表】・技能 →【技】・知識・理解 　　→【知・理】　 |
| 展開２ |  |
| もっとやりたい |
| まとめ |  |  |

指導案　　　　　年　　組　計　　名　　授業者